

令和2年度 施策評価シート

基本目標		区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政策	520	生涯学習・スポーツ活動の輪が広がるまちをつくる
施策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる
施策の目標	子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、誰もが気軽にスポーツを楽しみ、スポーツを通じた仲間づくりや、地域での交流が行われています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					45.0					50.0
実績	38.6	38.6	40.9	40.9						

指標名	「いつでもスポーツを楽しむことができる環境が整備されている」と思う区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					55.0					58.0
実績	49.9	49.9	43.9	43.9						

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
指標の実数値は住民意識調査で把握している。 上段について、東京都調査では、スポーツの定義を「勝敗や記録を競うものだけでなく、ウォーキングや散歩など、健康づくりのために目的を持って自主的に行う身体活動を含める」としている。本区においてはそのような注釈を設けていないため、今後の住民意識調査から東京都に合わせることにする。 下段については減少傾向にあるが、総合運動場がオープンしたこともあり、今後の動向を注視する。	H29	54,378
	H30	53,405
	R1	51,136

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
C	各事業について必要性は高いと判断しているが、スポーツ実施率が低い世代があるため、スポーツをする環境をハード・ソフト両面から工夫する必要がある。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
本区の高齢化率は今後も進んでいくことが予測されており、生涯スポーツの促進や競技スポーツの振興は、区民の健康増進及び体力向上の観点からも、欠かすことのできない重要な施策となっている。	
【今後の具体的な方針】	
区の住民意識調査の結果によると、30代から40代の子育て・働き盛り世代のスポーツ実施率が低くなっている。運動やスポーツに親しむことは、地域との交流や親子がふれあう機会の創出、生活習慣病の予防等の観点からも有意義で、こうした世代に対するきめ細かなアプローチが必要である。合わせて、区民が健康で豊かな生活を送れるよう、誰もが運動やスポーツを楽しめる環境を整備していく必要がある。 今後は、新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツをする機会が減少する一方で、三つの密を避け、自宅やその周辺で運動をするニーズが高まることを踏まえ、新しい生活様式を踏まえて既存事業の見直しなどに取り組んでいく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
					年度実績値	評価対象年度
1	障害者(児)スポーツレクリエーション大会運営費	3,495	5,243	8,738	44	改善・見直しのうえ継続
					40.9	令和元年度
2	区民スポーツ教室経費	11,045	2,621	13,666	44	改善・見直しのうえ継続
					40.9	令和元年度
3	スポーツ施設開放事業	4,579	1,748	6,327	44	改善・見直しのうえ継続
					40.9	令和元年度
4	区民体育大会兼都民体育大会運営費	6,575	6,990	13,565	44	改善・見直しのうえ継続
					40.9	令和元年度
5	区民体育祭(総合開会式含む)	6,855	8,738	15,593	44	改善・見直しのうえ継続
					40.9	令和元年度
6	墨東五区大会事業費	2,270	4,369	6,639	44	改善・見直しのうえ継続
					40.9	令和元年度
7	区民納涼民踊大会	1,009	874	1,883	44	改善・見直しのうえ継続
					40.9	令和元年度
8	姉妹区親善スポーツ大会運営費	214	874	1,088	44	改善・見直しのうえ継続
					40.9	令和元年度
9	ホームタウン・スポーツチームの育成	510	874	1,384	44	改善・見直しのうえ継続
					40.9	令和元年度
10	野球場の借上げ事業	14,584	874	15,458	80	縮小や統合を検討
					70	令和元年度
11	マラソン大会開催経費	8,398	10,486	18,884	44	廃止を検討
					40.9	令和元年度
12						

令和2年度 事務事業評価シート

施 策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる	部内優先順位
事 業 名	障害者(児)スポーツレクリエーション大会運営費		1
目 的	当該事業を通じ障害者の健康の保持・増進を図るほか、障害がある方も気軽にスポーツをすることができるようにする。また、地域の交流の場として、障害者施設間をはじめとする各団体の相互理解、親睦を深めること、一般区民への啓蒙・周知を図る。		主管課・係(担当)
			スポーツ振興課スポーツ振興担当 5608-6312
対 象 者	区内障害者施設の利用者		
根 拠 法 令 関 連 計 画	スポーツ基本法第22条		
実 施 基 準	法令基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 (人員体制)常勤3人 (委託先)特定非営利活動法人のぞみ外
事 業 内 容	<p>例年、10月第3日曜日に墨田区総合体育館において、各障害者団体、福祉作業所等の利用者及びその家族が参加する運動会型レクリエーション大会を行っている。</p> <p>内容については、各団体から実行委員を選出し、実行委員会において決定し、買い物競走・玉入れ・パン食い競走など、全13種目を実施している。運営は、スポーツ推進委員、その他の協力団体により行っている。</p>		
経 過	開始年度	昭和56年	終了予定
	昭和56年の国際障害者年を契機として開催され、以後継続している。		
議 会 質 問 の 状 況	<p>[H28第4回定例会(11.29):井上議員]</p> <p>スポーツに参加したい障害者や障害児が増えているが、使える施設が少ないし、指導者もいない。パラリンピックの選手に依頼してスポーツ教室を開催してはどうか。また、障害者のプールの使用について、もっと機会を増やすことはできないか。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、障害者スポーツの振興を図っていくことは大変重要である。総合体育館では、障害者スポーツ・レクリエーション大会等を開催しており、こうしたイベントを契機に、パラスポーツの指導者を招きスポーツクリニックなどを開催することができれば、障害者スポーツの普及・振興の観点からも大変有意義であるため、今後検討していく。</p>		
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 例年、10月第3日曜日に実施。		

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額(事業費)		2,521	2,918	3,092	3,340	3,642	3,359
決算額(令和2年度は見込み)		2,397	2,821	2,972	3,170	3,495	0
財 源	国						
	都		2,256	2,377	2,535	3,000	0
	その他						
一般財源		2,397	565	595	635	495	0
執行率(%)		95.1%	96.7%	96.1%	94.9%	96.0%	0.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	競技役員等謝礼	354	報償費	競技役員等謝礼	259	報償費	競技役員等謝礼	418
需用費	消耗品の購入外	1,103	需用費	消耗品の購入外	1,080	需用費	消耗品の購入外	901
役務費	傷害保険料	50	役務費	傷害保険料	50	役務費	傷害保険料	50
委託料	設営委託等	1,418	委託料	設営委託等	1,759	委託料	設営委託等	1,706
使用料及び賃借料	施設使用料	245	使用料及び賃借料	施設使用料	255	使用料及び賃借料	施設使用料	284

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		975	R7	目標	750	775	800	825
				実績	770	743	726	693
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	850	875	900	925	950	975	
	実績	0						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由)スポーツを行う場及び交流の場として、継続して参加している区内障害者施設の利用者の数を計測する必要があるため。 (目標値の理由)スポーツに関心を持っている区内障害者施設の利用者による参加者数の増を想定した。ただし、過去の実績から大幅な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	スポーツ実施率				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
50		R7	目標	41	42	43	44	
			実績	38.6	38.6	40.9	40.9	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	45	46	47	48	49	50		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
(指標の選定理由)障害者(児)スポーツレクリエーション大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため。 (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	毎年一定の参加者があり、リピーターも多いことから区民のニーズがあるといえ、当該事業の必要性は高い。また、区内障害者施設の利用者が一堂に集まる数少ない事業であり、地域交流の場として重要であることから、今後も安全面等を考慮して改善しながら継続していく。 また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。

課題・問題点
<p>・大会実施工程や種目を工夫・改善し、より多くの区内障害者施設の利用者が参加できるようにする必要がある。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症関連】 屋内での実施かつ700人規模の人が密集・密接するため、感染リスクが高い。十分な感染防止対策が取れるかどうか実行委員会で協議の上、大会実施の可否を判断していく必要がある。</p>

施 策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる			部内優先順位
事 業 名	区民スポーツ教室経費				2
目 的	すべての区民が参加できるスポーツ活動の場を設け、区民の健康増進及び体力向上を図る。				主管課・係(担当)
					スポーツ振興課スポーツ振興担当 5608-6312
対 象 者	区内在住・在勤・在学の成人				
根 拠 法 令	スポーツ基本法第22条				
関 連 計 画					
実 施 基 準	法令基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	(人員体制)常勤2人 (委託先)特定非営利活動法人スポーツアアずま、特定非営利活動法人両国倶楽部
	以下の各種スポーツ教室について、委託を行う。 (1)ちょっと楽しいスポーツ教室 ・バドミントン・ミニテニス・ビーチボールバレー・ラージボール卓球といったニュースポーツの体験教室 ・毎回の教室では、スポーツ推進委員が指導者として教室を行う。 (2)高齢者健康体操教室 ウォーキング、ストレッチング、ボールを使ったエクササイズ、リズムダンスなど高齢者(区内在住の65歳以上で要介護認定を受けていない者)の健康増進を目的とした体操教室 (3)ボート教室 ファミリー向けの初心者ボート体験教室				
経 過	開始年度	以下のとおり		終了予定	
	(1)ちょっと楽しいスポーツ教室 ・昭和51年度から北部と南部の小学校等で実施している。 ・平成23年度からは第四吾嬬小学校及び外手小学校で実施している。 (2)高齢者健康体操教室 ・昭和52年度から社会体育課体育係(現スポーツ振興課スポーツ振興担当)から体育館へ事業を移管した。 ・平成22年度、総合体育館の新築に伴い、体育館からスポーツ振興課スポーツ振興担当に事業を移管した。 (3)ボート教室 平成27年度から平井橋水防倉庫で漕艇庫を供用したため、ボート教室を実施している。				
議 会 質 問 の 状 況	[H28予算特別委員会(3.11)井上委員] スポーツ教室などでも、参加者は女性が大変多く、男性の高齢者は少ない。介護予防の観点から、男性にももっと積極的に、スポーツやいろいろな地域の活動に参加してもらいたい。 スポーツ振興の観点からは答弁なし				
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)				

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額(事業費)		1,350	1,350	11,150	11,221	11,045	11,353
決算額(令和2年度は見込み)		1,350	1,350	11,089	11,142	11,045	11,053
財 源	国						
	都			3,402	3,402	3,451	2,523
	その他	172	172	2,412	2,412	2,201	1,120
一般財源		1,178	1,178	5,275	5,328	5,393	7,410
執行率(%)		100.0%	100.0%	99.5%	99.3%	100.0%	97.4%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	ちょっと楽しいスポーツ教室	1,402	委託料	ちょっと楽しいスポーツ教室	1,413	委託料	ちょっと楽しいスポーツ教室	1,408
	高齢者健康体操教室	9,046		高齢者健康体操教室	9,142		高齢者健康体操教室	9,155
	ボート教室	491		ボート教室	491		ボート教室	491
	障害者水泳教室	180					カヌー教室	300
使用料及び賃借料	障害者水泳教室	25						

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	延参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		18,000	R7	目標	13,000	13,500	14,000	14,500
				実績	13,965	14,643	15,378	14,110
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	15,500	16,000	16,500	17,000	17,500	18,000
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由)スポーツを行う場及び交流の場として、継続して参加している区民の数を計測する必要があるため (目標値の理由)積極的な広報を行うとともに、口コミ等による新たな参加者の増加も想定した。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	スポーツ実施率				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
50		R7	目標	41	42	43	44	
			実績	38.6	38.6	40.9	40.9	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目標	45	46	47	48	49	50	
	実績							
指標の選定理由及び目標値の理由								
(指標の選定理由)区民スポーツ教室事業を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するかを図る必要があるため (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	スポーツをする機会の確保、スポーツを通じた地域コミュニティの醸成・活性化策として有効であるとともに区民の健康増進・体力向上に資する施策である。今後さらなる周知を行い、スポーツ実施率向上を目指す。また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> ・ちょっと楽しいスポーツ教室 南部地域(外手小学校)の受講者が少ない。また、小学校の体育館を会場としているが、その確保が困難となっている。 ・高齢者体操教室 教室で使用しているボールやマットなどの用具が破損・不足している。 ・ボート教室 年度によって、参加者数にバラつきがあるため、積極的な広報を行う必要がある。 <p>【新型コロナウイルス感染症関連】 全ての教室について、参加者同士の接触や受付・更衣などでの「3密」発生の防止等、運営面での課題について、委託先や講師と協議する必要がある。 特に高齢者健康体操教室については、参加者からの要望も非常に多く、高齢者の運動不足解消・健康増進を目的とした事業であるため、事業実施に前向きに検討していく必要がある。</p>

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	延参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		6,300	R7	目 標	5,850	5,900	5,950	6,000
				実 績	5,866	6,128	6,105	6,152
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	6,050	6,100	6,150	6,200	6,250	6,300	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由) スポーツを行う場及び交流の場として、継続して参加している区民の数を計測する必要があるため。 (目標値の理由) 積極的な広報を行うとともに、口コミ等による新たな参加者の増加も想定した。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	スポーツ実施率				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
50		R7	目 標	41	42	43	44	
			実 績	38.6	38.6	40.9	40.9	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	45	46	47	48	49	50		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
(指標の選定理由) スポーツ施設開放事業を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため。 (目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	一定数の参加者がいることから、区民のスポーツ振興及び地域交流の促進を図る手段としてスポーツ施設開放は適切であると思われる。また、地域交流の場としても参加者には定評があり、参加者が友人を連れてきて新たな交流が生まれる等の波及効果もあることから、今後も改善しながら継続していく。また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> ・未経験者及び初心者が新規参入しやすい環境をつくれるよう、指導員と協力していく必要がある。 ・学校の統廃合等により、実施可能な施設が減少してきているため、事業の実施場所確保のため、中学校、旧学校施設との連携を図るとともに、施設の確保ができない場合はその他の施設の利用も検討する必要がある。 <p>【新型コロナウイルス感染症関連】 小中学校の施設で実施していることから、事業の実施には学校施設の貸出し再開が前提となる。 参加者同士の接触や受付・更衣などでの「3密」発生の防止等、運営面での課題について、委託先や講師と協議する必要がある。</p>

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数(区民体育大会・都民体育大会)				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		11000	R7	目標	10,500	10,500	10,500	10,500
				実績	9,887	9,378	9,022	8,857
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	10,500	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由)競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため (目標値の理由)スポーツに関心を持ち、体力・技術の向上を目的に、競技者として大会に出場する参加者数の増を想定した。 ただし、競技者の大幅な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	スポーツ実施率				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
50		R7	目標	41	42	43	44	
			実績	38.6	38.6	40.9	40.9	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	45	46	47	48	49	50		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
(指標の選定理由)区民体育大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	競技スポーツ振興の根幹的な事業であり、墨田区体育協会加盟団体により効果的な運営がされている。しかし、近年全体参加者数が減少傾向にあるため、PR方法や実施方法等を改善しながら参加者の増加を目指していく。 また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。

課題・問題点
大会競技日数の増加により休日に会場を多く使用するため、一般区民のスポーツする機会を奪いかねない。そのため、効率的な大会運営について、各競技団体と協議していく必要がある。 【新型コロナウイルス感染症関連】 競技によって大会規模や実施場所・方法等が異なり、感染リスクの高さにも違いがあるため、十分な感染防止対策が取れるかどうか各競技団体と協議の上、大会実施の可否を判断していく必要がある。

施 策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる			部内優先順位
事 業 名	区民体育祭運営費				5
目 的	各種スポーツ競技大会を開催し、日頃の成果を発揮する場を設け、区民のスポーツ活動への参加意欲を高め、併せて健康増進と体力・技術の向上を図る。また、大会を通じて区民相互の交流を深める。				主管課・係（担当）
					スポーツ振興課スポーツ振興担当 5608-6312
対 象 者	区内在住・在勤・在学者				
根 拠 法 令 関 連 計 画	スポーツ基本法第22条				
実 施 基 準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	(人員体制)常勤2人
事 業 内 容	墨田区民体育祭(秋季大会)は、その名のとおりまさに体育の祭典であり、多種目にわたり競技が行われる。なお、各種目の入賞者には区から賞状、メダル等を、優勝者には区長杯が授与される。				
経 過	開始年度	昭和22年度	終了予定		
	昭和22年、憲法施行記念都民大会が開催されたことを契機に行われた。その後、種目や参加選手数が増えたことや、都民体育大会派遣選手の選考などから区民体育大会を春に、区民体育祭を秋に実施することとした。				
議 会 質 問 の 状 況					
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)				

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額(事業費)		9,277	7,294	7,849	7,895	8,315	8,644
決算額(令和2年度は見込み)		8,284	7,033	7,510	7,376	6,855	8,299
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		8,284	7,033	7,510	7,376	6,855	8,299
執行率(%)		89.3%	96.4%	95.7%	93.4%	82.4%	96.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	総合開会式チア指導者謝礼金	10	報償費	総合開会式チア指導者謝礼金	0	報償費	総合開会式チア指導者謝礼金	10
需用費	大会メダル・楯等購入	1,473	需用費	大会メダル・楯等購入	1,306	需用費	大会メダル・楯等購入	1,921
委託料	駅伝・ロードレース大会会場設置委託	197	委託料	駅伝・ロードレース大会会場設置委託	217	委託料	駅伝・ロードレース大会会場設置委託	220
使用料	大会等会場使用料	2,581	使用料	大会等会場使用料	2,301	使用料	大会等会場使用料	3,227
負担金及び補助金	墨田区体育協会補助金(区民体育祭区共催費)	3,116	負担金及び補助金	墨田区体育協会補助金(区民体育祭区共催費)	3,031	負担金及び補助金	墨田区体育協会補助金(区民体育祭区共催費)	3,266

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活動指標)	指 標	延参加者数(区民体育祭)				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		14,500	R7	目 標	14,000	14,000	14,000	14,000
				実 績	13,638	13,186	12,904	11,656
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	14,000	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由) 競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため (目標値の理由) スポーツに関心を持ち、体力・技術の向上を目的に競技者として大会に出場する参加者数の増を想定した。 ただし、競技者の大幅な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成果指標)	指 標	スポーツ実施率				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
50		R7	目 標	41	42	43	44	
			実 績	38.6	38.6	40.9	40.9	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	45	46	47	48	49	50		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
(指標の選定理由) 区民体育祭(総合開会式含む)を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するかを図る必要があるため (目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	競技スポーツ振興の根幹的な事業であり、墨田区体育協会加盟団体により効果的な運営がされている。しかし、近年全体参加者数が減少傾向にあるため、PR方法や実施方法等を改善しながら参加者の増加を目指していく。 また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。

課題・問題点
大会競技日数の増加により休日に会場を多く使用するため、一般区民のスポーツする機会を奪いかねない。そのため、効率的な大会運営について、各競技団体と協議していく必要がある。 【新型コロナウイルス感染症関連】 競技によって大会規模や実施場所・方法等が異なり、感染リスクの高さにも違いがあるため、十分な感染防止対策が取れるかどうか各競技団体と協議の上、大会実施の可否を判断していく必要がある。

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		700	R7	目標	650	650	650	650
				実績	644	678	712	661
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	650	700	700	700	700	700	
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由) 競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため (目標値の理由) スポーツに関心を持ち、体力・技術の向上を目的に競技者として大会に出場する参加者数の増を想定した。ただし、競技者の大幅な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	スポーツ実施率				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
50		R7	目標	41	42	43	44	
			実績	38.6	38.6	40.9	40.9	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	45	46	47	48	49	50		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
(指標の選定理由) 墨東五区各種大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため (目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	墨東五区各種大会では、各種目を持ち回りで担当しているため、年度ごとの比較は困難であるが、毎年各種目の親睦及び技術の向上が図られている。また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。

課題・問題点
<p>毎年担当種目が異なるため、効率化を図る観点等から、一つの種目において事業運営方法を大幅に変えることは困難である。また、運営方法を変更する場合は、引き継ぎ方法等を踏まえ、全体で協議しなければならないため時間を要する。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症関連】 競技によって大会規模や実施場所・方法等が異なり、感染リスクの高さにも違いがあるため、十分な感染防止対策が取れるかどうか各競技団体及び五区で協議の上、大会実施の可否を判断していく必要がある。</p>

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	延参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,200	R7	目標	1,000	1,000	1,000	1,000
				実績	900	500	1,000	1,200
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	1,000	1,100	1,100	1,100	1,100	1,200	
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由)民踊を披露する場及び交流の場として、継続して参加している区民の数を計測する必要があるため (目標値の理由)積極的な広報を行うとともに、口コミ等による新たな参加者の増加も想定し、設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	スポーツ実施率				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
50		R7	目標	41	42	43	44	
			実績	38.6	38.6	40.9	40.9	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	45	46	47	48	49	50		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
(指標の選定理由)区民納涼民踊大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度 変化するかを図る必要があるため (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な 視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	昨今、参加者が急増し、区民相互の親睦・地域の活性化が図られている。今後も会場確保や誘客方策について、主管である墨田区民踊連盟及び実施場所の提供等で協力をいただいている東武タウンソラマチ(株)と協議していく。 また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。

課題・問題点
<p>会場となっている東京スカイツリーのソラマチタウン1F広場が、今後も使用できるかどうか不明である。平成25年度から同施設で実施しているが、使用できなくなれば会場使用料が必要になる場合も考えられる。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症関連】 屋外での実施ではあるものの、例年非常に多くの人々が密集・密接するため、感染リスクが高い。十分な感染防止対策が取れるかどうか墨田区民踊連盟及び東武タウンソラマチ(株)と協議の上、大会実施の可否を判断していく必要がある。</p>

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		750	R7	目標	700	700	700	700
				実績	681	431	669	390
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	700	750	750	750	750	750	
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由) 競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため (目標値の理由) スポーツに関心を持ち、体力・技術の向上を目的に競技者として大会に出場する参加者数の増を想定した。ただし、競技者の大幅な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	スポーツ実施率				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
50		R7	目標	41	42	43	44	
			実績	38.6	38.6	40.9	40.9	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	45	46	47	48	49	50		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
(指標の選定理由) 姉妹区親善スポーツ大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するかを図る必要があるため (目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹区としての区民交流事業であることから、費用対効果の観点では有効である。 ・新規参加者の増加や実施種目の見直しについて、共催する台東区と検討する必要がある。 また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が一定の選手に限られ、より広い区民の参加を促す必要がある。 ・実施種目を見直してほしいとの要望もあることから、共催する台東区と検討する必要がある。 <p>【新型コロナウイルス感染症関連】 競技によって大会規模や実施場所・方法等が異なり、感染リスクの高さにも違いがあるため、十分な感染防止対策が取れるかどうか各競技団体及び台東区と協議の上、大会実施の可否を判断していく必要がある。</p>

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	学校訪問教室				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		12	R7	目標	10	10	10	10
				実績	5	5	2	7
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	11	11	11	12	12	12	
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由) トップアスリートと交流する学校訪問教室の開催数を計測することで、スポーツをするきっかけとなる子ども及び競技として関わる子どもが増えることを期待しているため (目標値の理由) ホームタウン・スポーツチームは現在2チームあり、公式リーグの試合もこなしているため、訪問教室の過度な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	スポーツ実施率				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
50		R7	目標	41	42	43	44	
			実績	38.6	38.6	40.9	40.9	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	45	46	47	48	49	50		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
(指標の選定理由) ホームタウン・スポーツチームの育成事業を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため (目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	<ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリートと交流できる学校訪問教室などは、参加者から好評をいただいております。地域活性化のために区が実施する必要性は高い。 ・「FC東京バレーボールチーム」は、ホームタウン協定を締結して間もないため、ホームタウン・スポーツチームとしての認知度が低いことから、「フウガドルすみだ」と併せて積極的にPRを行って行く。 また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームゲーム会場として使用する総合体育館の会場確保がかなり困難となっており、一般利用者(区民)との共存が課題である。 ・ホームタウンチームの認知度の上昇が課題である。 <p>【新型コロナウイルス感染症関連】 学校訪問教室や、チームの応援イベントの実施については、感染拡大防止対策を検討する必要がある。また、「フウガドルすみだ」及び「FC東京バレーボールチーム」がそれぞれ出場しているトップリークについて、観客数の減少が見込まれるため、ハード面ソフト面の両方からの支援が必要である。</p>

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	貸出コマ数				単 位	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		850	R7	目 標	1000	1000	1000	900
				実 績	1036	1024	1034	941
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	900	900	850	850	850	850	
	実 績	855						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	野球場利用コマ数をどれだけ確保したかを確認することができる。今後の利用状況を踏まえ、借上面数を縮小する方針であるため、目標値を落としている。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	利用率				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
80		R7	目 標	80	80	80	80	
			実 績	63.6	68	65.9	70	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	80	80	80	80	80	80		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
実際に利用した割合が確認できる。令和元年度から土曜日の借上面数を2面から1面に削減したため、利用率が目標に近づくものと考えられる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
統合や縮小を検討	契約金額に対して利用料金収入が少ないため、稼働率に応じた借上面数の見直しを進める必要がある。他方、代替の施設がないため、すぐに廃止することは難しい。

課題・問題点
契約金額に対して利用料金収入が少ないため、財政上の観点から稼働率に応じた借上面数の見直しを進める必要がある。

施 策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる			部内優先順位
事 業 名	マラソン大会開催経費				11
目 的	(1)フクシ・エンタープライズ墨田フィールドの開場記念 フクシ・エンタープライズ墨田フィールドを広く知ってもらうため、当該フィールドを中心として、競技者だけではなくファミリー等で参加できる内容で実施する。 (2)オリンピック・パラリンピックの気運醸成 来年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、スポーツに対する区民の関心を喚起し、大会成功に向けた気運醸成を加速化させるため、ランニングイベントだけではなく、「アスリートの食」をテーマにしたイベントなどを合わせて実施する。				主管課・係（担当）
					スポーツ振興課スポーツ振興担当
対 象 者	区内在住・在勤・在学者及びその他一般				
根 拠 法 令 関 連 計 画	スポーツ基本法第22条				
実 施 基 準	法令基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	(人員体制)常勤3人 (委託先)株式会社アールピース、株式会社フクシ・エンタープライズ、株式会社アド福助、株式会社DANGAN、特定非営利活動法人スポーツアアずま、大東印刷工業株式会社
	事業内容 「すみだランフェスタ」の実施 (1)フクシ・エンタープライズ墨田フィールド(墨田区総合運動場)を始点・終点とし、隣接する東白鬚公園を使用したランニングイベントを実施する。 (2)同時開催イベントとして、「アスリートの食」や、「VRボクシング体験」、「ミット打ち体験」、「コーディネーショントレーニング」を実施する。				
経 過	開始年度	令和元年度	終了予定	令和元年度	
議 会 質 問 の 状 況					
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)				

予算・決算額推移(千円)		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算現額(事業費)						8,447	
決算額(令和2年度は見込み)						8,398	
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	0	0	8,398	0
執行率(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.4%	#DIV/0!

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
			報償費	従事者報償費	434			
			需用費	従事者用弁当の購入	99			
			役務費	参加者・従事者用傷害保険料	58			
			委託料	計画策定・大会運営・会場設営委託	7,794			
			使用料及び賃借料	公園占用料	15			

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	参加者数(ランニングイベントのみ)				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,050	R1	目標				1,050
				実績				752
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由)競技者としてだけでなく、スポーツを楽しむ目的で大会に参加する区民の数を計測する必要があるため (目標値の理由)スポーツに関心を持ち、新たな総合運動場における記念を目的に大会に出場する参加者数を想定した。ただし、初めて実施する事業であり、参加者数の予測が難しいため、目標値は慎重に設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	スポーツ実施率				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
44		R1	目標				44	
			実績				40.9	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目標							
	実績							
指標の選定理由及び目標値の理由								
(指標の選定理由)すみだランフェスタを実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するかを図る必要があるため。 (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
廃止を検討	すみだランフェスタは、総合運動場開場記念として実施した事業であるため、今後継続していく事業ではない。

課題・問題点
すみだランフェスタは、総合運動場開場記念として実施した事業であるため、継続して実施する事業ではないが、区内マラソンへの需要があるため、そのことについては今後検討していく必要がある。

補助金名称	墨田区体育協会補助金		主管課・係（担当）			
根拠法令	墨田区体育協会補助金交付要綱		スポーツ振興課スポーツ振興担当			
補助概要	墨田区体育協会に対し、区民体育大会及び区民体育祭等の区との共催事業や事務経費等について補助金を交付する。		5608-6312			
目的	墨田区体育協会に対し、区民体育大会及び区民体育祭等の区との共催事業や事務経費等について補助金を交付し、その運営等を支援することにより、本区におけるスポーツの振興と区民の体力向上を図る。					
対象	墨田区体育協会					
基準	区独自基準					
補助条件	1 区民体育大会経費及び区民体育祭経費 2 都民体育大会等に参加する選手・役員の派遣費 3 前二号に掲げるもののほか、区長が必要と認める経費					
経過	開始年度	昭和22年度	終了予定			
	昭和22年、憲法施行記念都民大会が開催されたことを契機に行われた。その後、種目や参加選手数が増えたことや、都民体育大会派遣選手の選考などから区民体育大会を春に、区民体育祭を秋に実施することとした。					
議会質問の状況	<p>【H29第3回定例会 中沢議員】</p> <p>各体育協会加盟団体とオリンピック・パラリンピック大会に向けての連携について、現在どのような取組をされているのか。</p> <p>墨田区体育協会は、区内のスポーツ関連団体を取りまとめる重要な協会で、今後、各加盟団体と連携し、大会の機運を盛り上げ、これを契機とした区民の体力向上やスポーツを身近に感じられるような取組を展開していく。</p> <p>オリンピック・パラリンピック期間中はボクシング競技が行われるため、ボクシング連盟の医事委員会、又は組織委員会から派遣される可能性があるかもしれませんが、本区の医療関係者も参加要請される可能性も想定できる。区の体育協会内に医事委員会を設立し、大会期間中にサポートできる体制を整えていくことが必要ではないか。</p> <p>医療体制に関する具体的な情報は、組織委員会や東京都から入っていない。今後、スポーツファーマシストをはじめとした資格のある医療関係者の把握に努めるなど、医療関係団体からさまざまな情報収集を行い、区として対応が求められる場合には、連携して取り組んでいく。また、体育協会内の医事委員会設置については、今後、都や組織委員会の動向を注視し、必要に応じて調整していく。</p>					
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（千円）		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
予算額（事業費）		7,829	7,702	7,702	7,752	7,952	7,732
決算額（令和2年度は見込み）		7,042	7,639	7,525	7,692	7,535	7,732
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		7,042	7,639	7,525	7,692	7,535	7,732
執行率（％）		89.9%	99.2%	97.7%	99.2%	94.8%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数(区民体育大会及び区民体育祭)				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		25,500	R7	目標	24,500	24,500	24,500	24,500
				実績	23,525	22,564	21,926	20,135
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	24,500	25,500	25,500	25,500	25,500	25,500
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指定の選定理由) 競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため。 (目標値の理由) スポーツに関心を持ち、体力・技術の向上を目的に、競技者として大会に出場する参加者数の増を想定した。ただし、競技者の大幅な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	スポーツ実施率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		50	R7	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		45	46	47	48	49	50	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
(指標の選定理由) 区民体育大会・区民体育祭を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため。 (目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		<p>墨田区体育協会の加盟団体が区民体育大会等を主管して運営することで、専門性もあり民間委託等に比べ安価に運営することができている。</p> <p>また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。</p>						

課題・問題点	
<ul style="list-style-type: none"> ・非加盟団体からの新たな加入申請については、実績内容を踏まえ、慎重に審査する必要がある。 ・区民の体力向上及びスポーツ精神の涵養を図ることを目的に、オリンピック競技の開催自治体として、当該協会が区とともにどのような役割を担えるかを協議していく必要がある。 <p>【新型コロナウイルス感染症関連】</p> <p>大会の規模縮小や中止により、必要な補助金が減少、不用になる競技団体もあれば、大会の実施に伴い、消毒液の購入や誘導員の配置等の感染症対策費が発生し、必要な補助金が増加する競技団体も出てくると考えられる。そのため、これまで以上に慎重な審査が必要である。</p>	

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
		1,200	R7	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	
				実績	900	500	1,000	1,200	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	1,000	1,100	1,100	1,100	1,100	1,200	
		実績							
		指標の選定理由及び目標値の理由							
		(指標の選定理由) 民踊を披露する場及び交流の場として、継続して参加している区民の数を計測する必要があるため。 (目標値の理由) 積極的な広報を行うとともに、口コミ等による新たな参加者の増加も想定し、設定した。							
		目的に 対する指標 (成果指標)	指標	スポーツ実施率				単位	%
最終目標値	目標年度				基準年(H28)	H29	H30	R1	
50	R7			目標	41	42	43	44	
				実績	38.6	38.6	40.9	40.9	
	R2			R3	R4	R5	R6	R7	
目標	45			46	47	48	49	50	
実績									
指標の選定理由及び目標値の理由									
(指標の選定理由) 区民納涼民踊大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため。 (目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。									
評価結果				評価についての説明・今後の方向性等					
改善・見直しのうえ継続		<p>昨今、参加者が急増し、区民相互の親睦・地域の活性化が図られている。今後も会場確保や誘客方策について、主管である墨田区民踊連盟及び実施場所の提供等で協力をいただいている東武タウンソラマチ(株)と協議していく。</p> <p>また、新型コロナウイルスへの対応について、国や都の動向を注視しながら、随時検討していく。</p>							

課題・問題点	
<p>会場となっている東京スカイツリーのソラマチタウン1F広場が、今後も使用できるかどうか不明である。平成25年度から同施設で実施しているが、使用できなくなれば会場使用料が必要になる場合も考えられる。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症関連】 屋外での実施ではあるものの、例年非常に多くの人々が密集・密接するため、感染リスクが高い。十分な感染防止対策が取れるかどうか墨田区民踊連盟及び東武タウンソラマチ(株)と協議の上、大会実施の可否を判断していく必要がある。</p>	